

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(中2)

課題の見られた問題の概要	結果
「ヨーロッパ州の地域的特色を理解しているか」をみる問題	23.0%
「ヨーロッパ州の地域的特色を理解しているか」をみる問題	27.6%
「古代までの政治の特色を理解しているか」をみる問題	40.2%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
ワークシートを工夫し、考える問題や図表から読み取る問題を多く取り入れることで、児童・生徒の学力向上を図るための調査において、関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能の観点、取り出す力、読み取る力、解決する力の項目で、都平均を上回る結果となった。	児童・生徒の学力向上を図るための調査では、知識・理解の観点で他の観点と比較して低い結果となった。基本的基礎的な知識を厳選し、単元ごとに小テストを実施して、知識の定着を図る必要がある。また、地図帳を活用し、その地域の地域的な特色を大観できるように指導を工夫していく。

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
全体的に授業にも前向きに取り組もうとする生徒が多い。視聴覚教材を活用したり、作業を多く取り入れることで、授業アンケートでは、8割以上の生徒が理解しやすい、分かりやすいと評価している。	社会は暗記教科であるという意識が高く、覚えられないという苦手意識をもっている生徒もいる。必要な知識を厳選して定着させ、その上で思考力・判断力・表現力を高められるようにアクティブラーニングや課題解決学習を取り入れていきたい。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	関心や意欲が高く、発問に対しても素直に表現できる生徒が多い。一方で、知識の習得が一時的になる生徒が多いため、継続性と関連性を持たせた授業展開が必要。	○小テストを単元ごとに行い、知識の定着を図る。 ○導入時に前時の内容を毎時間確認をする。 ○習得した知識を定着させるため、問題解決学習やアクティブラーニングを取り入れていく。
2年生	関心や意欲が高く、発問に対しても素直に表現できる生徒が多い。児童・生徒の学力向上を図るための調査では、知識・理解の観点で他の観点と比較して低い。	○小テストを単元ごとに行い、知識の定着を図る。 ○習得した知識を活用して、問題を解決できる力をつけるために、問題解決学習やアクティブラーニングを取り入れ、思考力・判断力・表現力を高めていく。
3年生	関心や意欲が高く、発問に対しても素直に表現できる生徒が多い。その反面で、社会は暗記教科であるという苦手意識が強い生徒も多く、課題の提示を工夫する必要がある。	○小テストを単元ごとに行い、知識の定着を図る。 ○習得した知識を活用して、問題を解決できる力をつけるために、問題解決学習やアクティブラーニングを取り入れ、思考力・判断力・表現力を高めていく。

●学校全体で取り組む内容

<p>○小テストを単元ごとに行い、知識の定着を図る。 ○習得した知識を活用して、問題を解決できる力をつけるために、問題解決学習やアクティブラーニングを取り入れ、思考力・判断力・表現力を高めていく。 ○視聴覚教材や実物の教材を多く活用し、興味・関心を高める発問の工夫を行う。 ○作業をする時間を多く取り入れる。</p>
--